

（第三種郵便物認可） 月十五日 月六回 五日十月十五日二十日廿五日刊日

常新

新聞新常所行發
九五町南町平縣島福
次 藤 藤 伊 人行發
一 池吉町濱名小縣島福
(線十五行一料告費)

はリスク 堂生資

町濱名小
番七四一話電

な公園道路を考慮中の處今して安神の行ける方法を人絹會社當路者に勧告したい
を三間半道路として開闢す
べく目下地主と交渉中なれ
ば不日立派な自動車道路が
出來町として公園として
も光彩を添ひてあらう。

錦村 昭和人絹建設に 又復反對烽火揚る

地元植田町に於ては十六
日急遽町會を召集し町議
田豊氏建議に關する昭和人
絹建設反對を議題として萬
場一致縣當局に對し認可取
消しを陳情することに決議
し尚ほ茨城縣松原に建設さ
るべき全工場に對しても絶
對反對を表明し茨城縣當局
に陳情することになった。

面新一新する
小名濱土木事業
から直様着手するであらう
流の改修工事も匡救事業だ
から直様着手するであらう
石城郡多賀部漁業組合
聯合協議會を小名濱漁業組
合に於て十七日開議した。

正しく強く

人生は正しく強く生きてく
べきである、正しく強ければ
自分一代に成果を得ない
にも後継者は期せずして
きないであらう、維新前後
に於て坂本龍馬、橋本左内
の如き若くして身は滅した
があの不拔の精神は同士後
輩に依て完成されて居る。
如何に正しくとも勇氣がな
ければ駄目だ強靱でなければ
不可だ、やゝもすれば正
は邪に滅するの傾向がある
邪智は正より立派に見える
る正は純が根源だが雅は惡
が根本だ故に人為的作爲的
に工作が多い故に一時は惡
が榮ゆる所以である。

昭和人絹設立と對策 郡水産會支部長會議

昭和人絹株式會社が工場縣當局に於ては浄化設備を
として石城郡錦村多賀部松原に於ては浄化設備を
原町に工場設置に對し沿岸し昭和人絹に於ては既に工
漁業家が晴天の露蔭に會せを起した今日只反對的氣勢
る以上の狼狽振りにて反對を擧げるのみにては何等得
運動に對策に日尚ほ足らざる處なく、被害の程度種類
の如く汚水の排泄が魚貝のの實狀を調査し對策するこ
の如く汚水の排泄が魚貝のの實狀を調査し對策するこ
往昔より無言は金銀辨は
銀なりと誨ゆ、無言の實行
は曾い、武士の一言金銀の
動たるべく之れに對し縣水
産試驗場長中山氏を中心
如し其處には犯することの
出來ない尊嚴味すらある須
郡水産會支部長を試驗場に
らく男子は前者を取るべき
召集し前後對策に付き疑議
であらう。然らば雄辯にし
て一代を濟度した日蓮上人
性的協議に入つた。

無言は金 辯舌は銀

昭和人絹株式會社が工場縣當局に於ては浄化設備を
として石城郡錦村多賀部松原に於ては浄化設備を
原町に工場設置に對し沿岸し昭和人絹に於ては既に工
漁業家が晴天の露蔭に會せを起した今日只反對的氣勢
る以上の狼狽振りにて反對を擧げるのみにては何等得
運動に對策に日尚ほ足らざる處なく、被害の程度種類
の如く汚水の排泄が魚貝のの實狀を調査し對策するこ
の如く汚水の排泄が魚貝のの實狀を調査し對策するこ

小名濱公園 三間半の 道路が出来る

小名濱公園入口が浄光院
の正門を通ることは公園に
遊ぶに於て第一印象的に
感しが悪ひ、町として適當
な小名濱公園入口が浄光院
の正門を通ることは公園に
遊ぶに於て第一印象的に
感しが悪ひ、町として適當

鏡 常

兩翼相食めば
親を滅す
小野平氏は健康
親を滅す
小野平氏は健康
親を滅す

診療開始

佐瀨醫學士快復
一般宅診に應ず
今夏健康を害を見受けるに至つた。依
し休養してしたて當分は宅診に應ずる由な
れば冷徹鏡の如き先生の仁
病家の爲めには非常に心強
復し寧ろ病前以上の健康体
事である。

人絹會社對策
聯合協議會
石城郡多賀部漁業組合
聯合協議會を小名濱漁業組
合に於て十七日開議した。

小野平氏の兩翼として自
他共に存す兩氏の思慮二つ
で親を滅するかの否かの鍵を
握つて居るものだ、賢明な
兩氏の平和的氣風こそ小
野平氏の勇躍を増長し又
周囲の知友に對し安心を興
へる體にもなることだ。
小野平氏は才人として人
一倍敏感であり西丸猛氏は
清濁併せ飲むの親分肌の人
小野平氏の參謀として兩
翼にあり畫策するに於ては
將に兎に金棒以上であらう

親切コカシに友人の

懐を肥す奴は葬れ

○村は物騒な人間の棲居地であるとの事だから世の
 中は何処か？……
 友人の災難、物入りを見
 越して商人と結託して、
 ト懐を肥した村會議員が
 と云ふ事は今更茲に喋々
 する迄もなく、茶飲席の中
 心話題として○村は勿論
 の事小名濱方面でも知ら
 い人は多いであらう。
 善人の看板を掛ければ
 善事をモットとせねば第
 三者に迷惑を掛け切る事
 にもなる心を有して掛かる
 からだ、ブローカー、事件屋
 ならば物を依頼するにして
 も細心の用意があるから大
 した間違はない、
 爰に指摘したいのは親族關
 係であり而して親友關係に
 ある友が友人の物入りを見
 て一肌抜く様子を見せ親切
 コカシに横着千両にも商人
 と結託して懐に數百圓のホ
 ロイ金儲をして、而も友人
 には他迄平氣を装ふに到ら
 ずは實に言語道斷、人間とし
 て風上にも置けないのは何
 人も肯定出来るであらう。
 如斯き偽善者は村會議員は
 オロカ、社會的にも再び毒
 牙の磨く隙もない迄に叩付
 け社界から葬るのが本當だ
 と思ふ。
 此裏面には當路の○○迄が

齊藤龜次氏
 代證人を辭めた
 永年の間小名濱登記所に
 係りて親友關係にせしめ
 たる齊藤龜次氏は代證人
 として一肌抜く様子を見
 せ親切コカシに横着千
 兩にも商人と結託して懐
 に數百圓のホロイ金儲を
 して、而も友人には他迄
 平氣を装ふに到らずは實
 に言語道斷、人間として
 風上にも置けないのは何
 人も肯定出来るであらう。
 如斯き偽善者は村會議員
 はオロカ、社會的にも再
 び毒牙の磨く隙もない迄
 に叩付け社界から葬るの
 が本當だと思ふ。

良品廉賣に勝る商略なし
 磐城セメント(特約代理店)

金物問屋
釜屋商店
 磐城平町五丁目
 電話九番・九九番
 東京磐城貯金口座一〇九五六

親切・勉強・正確・安心の薬舗
 寒暖計比重計一般温度計販賣
白石薬舗
 小名濱町中島通り 電話三三番

大衆讀物
 月遅れ雑誌あり
 掘出物單行本あり
 賞下を懸安する珍本あり
 安價なる伴侶は是れ
古本・雑誌・高價買入
 小名川橋畔 **布袋屋書店**

各國時計各種 小名濱町中島通り
 無線、眼鏡、蓄音器、ラヂオ
内山時計店
 電話四十九番

魚市場、鑽油部
磐城水産工業株式會社
 支店 小名濱町 電話六六、百十番
 三井生命保險株式會社代理店
 大正火災保險株式會社代理店

開陽堂店主
松崎 動
 小名濱銀座街

樋口 吳服店
 小名濱町中島通り

三ツ馬印特製 **ゴム靴**
 タヌキ印特製
 各種ゴム製品
 草履製造元 **小島履物店**
 小名濱本町銀座

釀造 **長瀬 彰義**
 玉川村林城

活版印刷
 長瀬芳郎印刷所
 見習徒弟至急入用
 薬妓、娼妓、酌婦
 人事周旋業
中村 瀧次
 小名濱町西門

石城測量社
 主任 末吉 守
 平町古鍛冶町三
 電話四三番(呼)

本院 植田町
鈴木眼科醫院
 分院 小名濱町古港

池部齒科醫院
 江名町

上田外科醫院
 平町南町
 電話二二九

宮津醫院
 小名濱 電話一四二番

佐瀨醫院
 小名濱電話一三五

小名濱眼科醫院
 小名濱町

久保田醫院
 小名濱町電話二二番

木田齒科醫院
 小名濱町電話一〇五

中村醫院
 小名濱町電話一八番